

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月7日
東

上場会社名 株式会社ミクシィ 上場取引所
 コード番号 2121 URL <http://mixi.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 弘毅
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営推進本部長(氏名) 大澤 弘之 (TEL) 03-6897-9500
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	105,983	△21.7	26,899	△43.8	26,985	△44.0	17,101	△31.9
2018年3月期第3四半期	135,436	△5.3	47,858	△15.3	48,206	△14.0	25,126	△35.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 17,462百万円(△30.5%) 2018年3月期第3四半期 25,115百万円(△35.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	225.50	224.97
2018年3月期第3四半期	320.33	319.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	185,298	169,226	91.0
2018年3月期	192,123	170,434	88.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 168,686百万円 2018年3月期 169,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	64.00	—	57.00	121.00
2019年3月期	—	60.00	—		
2019年3月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	155,000	△18.0	42,000	△42.0	42,000	△42.2	27,000	△35.4
								円 銭
								356.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	78,230,850株	2018年3月期	78,230,850株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	2,881,300株	2018年3月期	229,300株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	75,839,484株	2018年3月期3Q	78,439,380株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、2019年2月7日に機関投資家・証券アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。その説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	135,436	105,983	△21.7%
営業利益(百万円)	47,858	26,899	△43.8%
経常利益(百万円)	48,206	26,985	△44.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	25,126	17,101	△31.9%

当第3四半期連結累計期間におけるインターネット関連業界においては、株式会社MM総研の調査によると、2018年度上期のスマートフォン出荷台数は前年同期比1.2%増加し1,390.1万台となりました。国内携帯電話端末の総出荷台数に占めるスマートフォン出荷台数は89.6%となっております。

このような経済環境の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は105,983百万円（前年同四半期比21.7%減）となりました。また、営業利益は26,899百万円（前年同四半期比43.8%減）、経常利益は26,985百万円（前年同四半期比44.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17,101百万円（前年同四半期比31.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの名称及び区分方法を変更しており、以下の前年同四半期比較及び分析については、変更後の区分に基づいて記載しております。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

① エンターテインメント事業

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	124,559	101,592	△18.4%
セグメント利益(百万円)	51,774	34,297	△33.8%

スマートフォンネイティブゲーム「モンスターストライク」を主力とするエンターテインメント事業においては、国内外で、TVCMや屋外広告等のプロモーション、eスポーツ促進を含むリアルイベントの実施、グッズの製作、映画や人気アニメとのタイアップ、オリジナルアニメの配信や劇場版公開などに加え、グッズ販売等を行う常設店舗を東京・渋谷店に加え、新たに2018年6月に大阪・心斎橋店、2019年1月に東京・羽田店をオープンしました。また、ゲーム利用者数は2019年1月には全世界で4,900万人を突破しております。ユーザーの皆様の期待に応えるべく、サービスのライフタイムの長期化を目指し、アプリ内外でのユーザー還元の実施、映像・ソフトウェアの充実、マーチャンダイジング等のゲーム以外の領域の確立、新規タイトル等の開発を行うことによって、エンターテインメント事業のさらなる発展を図っております。

この結果、当事業の売上高は101,592百万円（前年同四半期比18.4%減）、セグメント利益は34,297百万円（前年同四半期比33.8%減）となりました。

② ライフスタイル事業

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	10,876	4,393	△59.6%
セグメント利益又は損失 (△)(百万円)	2,018	△1,245	－%

ライフスタイル事業では、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」においては、2019年1月には利用者が400万人を突破しております。また、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」においては、2018年6月に累計300万ダウンロードを突破いたしました。新規事業の立ち上げを加速すべく先行投資を実施しております。チケットフリマサービス「チケットキャンプ」につきましては、2018年5月をもってサービス提供を終了しております。また、2018年7月2日付で、当社が保有する株式会社Diverseの株式のすべてを、株式会社IBJに譲渡いたしました。

この結果、当事業の売上高は4,393百万円（前年同四半期比59.6%減）、セグメント損失は1,245百万円（前年同四半期はセグメント利益2,018百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態

当第3四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が161,409百万円（前連結会計年度末比10,037百万円減少）となり、主な要因としては、売上の減少による売掛金、現金及び預金の減少があげられます。固定資産は23,888百万円（前連結会計年度末比3,212百万円増加）となっております。

負債については、流動負債が16,056百万円（前連結会計年度末比5,584百万円減少）となり、主な要因としては、未払法人税等の減少があげられます。純資産は169,226百万円（前連結会計年度末比1,207百万円減少）となり、主な要因としては、自己株式の取得による減少があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて15,309百万円減少し、140,880百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は8,221百万円（前年同四半期は29,149百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が25,231百万円となったものの、法人税等の支払による減少16,247百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は5,434百万円（前年同四半期は4,791百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産及び投資有価証券の取得による支出5,489百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は18,104百万円（前年同四半期は21,899百万円の使用）となりました。これは、自己株式の取得による支出10,111百万円や配当金の支払7,991百万円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月10日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2018年11月8日に公表しました「通期連結業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）および配当予想の修正（期末配当）に関するお知らせ」をご参照ください。なお、例年第4四半期に季節的な要因による売上高の増加が見込まれているため、上記の連結業績予想を据え置いております。ただし、当第3四半期までの進捗率が前年同期に比べて若干悪く、今後の進捗状況によっては速やかに業績予想を修正させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	156,190	140,880
売掛金	11,732	11,061
商品	441	381
原材料	211	—
その他	2,887	9,105
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	171,447	161,409
固定資産		
有形固定資産	1,888	4,016
無形固定資産	391	344
投資その他の資産		
投資有価証券	3,351	5,908
繰延税金資産	10,486	9,008
その他	4,559	4,612
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	18,395	19,527
固定資産合計	20,675	23,888
資産合計	192,123	185,298
負債の部		
流動負債		
未払金	7,068	7,965
未払法人税等	9,909	22
未払消費税等	95	—
賞与引当金	950	302
その他	3,616	7,765
流動負債合計	21,641	16,056
固定負債		
その他	47	14
固定負債合計	47	14
負債合計	21,688	16,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,668	9,668
利益剰余金	151,669	159,649
自己株式	△1,450	△10,905
株主資本合計	169,587	168,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	337
為替換算調整勘定	212	237
その他の包括利益累計額合計	212	574
新株予約権	630	537
非支配株主持分	4	3
純資産合計	170,434	169,226
負債純資産合計	192,123	185,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	135,436	105,983
売上原価	16,934	15,035
売上総利益	118,501	90,948
販売費及び一般管理費	70,643	64,049
営業利益	47,858	26,899
営業外収益		
受取利息	2	3
為替差益	10	31
投資事業組合運用益	497	41
その他	35	140
営業外収益合計	546	216
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	196	111
その他	2	17
営業外費用合計	199	129
経常利益	48,206	26,985
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	346	67
関係会社株式売却益	—	356
特別利益合計	348	423
特別損失		
事業撤退損	—	2,018
固定資産除売却損	22	18
減損損失	131	15
投資有価証券評価損	—	124
のれん償却額	7,597	—
特別損失合計	7,751	2,178
税金等調整前四半期純利益	40,803	25,231
法人税、住民税及び事業税	15,490	6,801
法人税等調整額	186	1,329
法人税等合計	15,677	8,130
四半期純利益	25,125	17,100
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,126	17,101

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	25,125	17,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	337
為替換算調整勘定	△10	24
その他の包括利益合計	△10	361
四半期包括利益	25,115	17,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,115	17,463
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	40,803	25,231
減価償却費	526	744
減損損失	131	15
のれん償却額	8,683	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,276	△620
受取利息	△2	△3
支払利息	0	0
為替差損益(△は益)	△1	△9
支払手数料	196	111
投資事業組合運用損益(△は益)	△497	△41
固定資産除売却損益(△は益)	19	18
たな卸資産の増減額(△は増加)	△115	272
投資有価証券売却損益(△は益)	△346	△67
投資有価証券評価損益(△は益)	—	124
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△356
事業撤退損	—	310
売上債権の増減額(△は増加)	△582	328
未払金の増減額(△は減少)	1,665	595
未払消費税等の増減額(△は減少)	△728	△96
その他	5,585	△2,093
小計	54,057	24,467
利息の受取額	0	1
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△24,909	△16,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,149	8,221
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△963	△3,063
無形固定資産の取得による支出	△286	△187
投資有価証券の取得による支出	△1,251	△2,426
投資有価証券の売却による収入	445	75
投資有価証券の分配による収入	732	275
投資有価証券の払戻による収入	75	—
差入保証金の差入による支出	—	△158
敷金及び保証金の差入による支出	△3,549	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	49
その他	5	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,791	△5,434
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△10,195	△10,111
配当金の支払額	△11,703	△7,991
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,899	△18,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,458	△15,309
現金及び現金同等物の期首残高	134,278	156,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	136,736	140,880

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,795,800株の取得を行いました。また、第2四半期連結会計期間においてストックオプションの権利行使により自己株式143,800株を払い出しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が10,905百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	124,559	10,876	135,436	—	135,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	124,559	10,876	135,436	—	135,436
セグメント利益	51,774	2,018	53,793	△5,934	47,858
その他の項目					
減価償却費	224	45	270	256	526
のれん償却額	—	1,085	1,085	—	1,085
のれん償却額(特別損失)	—	7,597	7,597	—	7,597

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,934百万円には、報告セグメントの減価償却費△270百万円及びのれん償却額△1,085百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△4,579百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ライフスタイル事業セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式会社フンザが運営するチケットキャンプの業務を停止し、サービス提供を終了する意思決定を行ったことに伴い、減損損失を計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては131百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

ライフスタイル事業セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式会社フンザが運営するチケットキャンプの業務を停止し、サービス提供を終了する意思決定を行ったことに伴い、のれんを全額償却いたしました。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては7,597百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	101,590	4,393	105,983	—	105,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	1	△1	—
計	101,592	4,393	105,985	△1	105,983
セグメント利益又は損失(△)	34,297	△1,245	33,051	△6,152	26,899
その他の項目					
減価償却費	312	10	323	421	744
のれん償却額	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△6,152百万円には、報告セグメントの減価償却費△323百万円及び各セグメントに配分していない全社費用△5,829百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは第1四半期連結会計期間から、事業ポートフォリオの変化に合わせた事業ドメインの定義を行ったため、報告セグメントの名称及び区分方法を以下のとおりに変更しております。

従来「エンターテインメント事業」「メディアプラットフォーム事業」としておりましたセグメントの名称を、第1四半期連結会計期間から「エンターテインメント事業」「ライフスタイル事業」に変更しております。また、従来「メディアプラットフォーム事業」に属していた連結子会社のうち投資管理会社3社、他1社を各セグメントに配分していない全社費用に区分しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づいて記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が低いため省略しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。